



Sapporo Gakuin University

# 学園広報

2013.6.20 No.115

編集・発行  
札幌学院大学 広報課

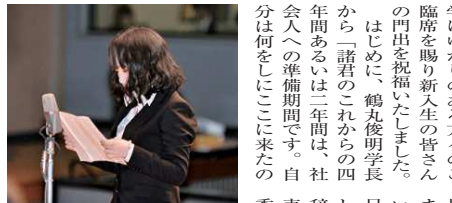
〒069-8555 北海道札幌市文京台11番地  
電話(011)386-8111 http://www.sgu.ac.jp



## 平成二十五年度入学式

「目標を見据え、  
有意義な学生生活になることを願って」

四月三日、平成二十五年度の入学式が二トリ文化ホール(旧北海道厚生年金会館)で執り行われ、大学院三研究科二十七名、五学部九科八〇〇名、合わせて八二七名の院生と学部生が入学しました。



新入生代表の日向さん

当日は小雨が降り、四月としては肌寒さが残るあいにくの天候となりましたが、保護者の方々をはじめ、本学にゆかりのある方々のご臨席を賜り新入生の皆さんの門出を祝福いたしました。はじめに、鶴丸俊明学長から「諸君のこれからの四年間あるいは二年間は、社会人への準備期間です。自分は何をしにここに来たのか、社会で何をやるのか、そのために何をしなければならぬのかを、今一度考えてほしい。そして目標を見据えつつ、各地から集まって来る友人との触れ合いを通して、それぞれに満ちた学生生活を送ってほしいと希望します。」と式辞があり、続いて在学生代表の法学部学生自治会執行委員長の太田侑輝さんから「チャンスは大学の他にも、どこにもあります。ですが、それを掴む事ができるかどうかは、一歩前に踏み出す勇氣と行動力にかかっています。こうして、自信(振協協力)エムフットワー

今私立大学の四六%が定員割れを起しております(平成二四年度)。今年度の集計はまだ出ていませんが、今後もさらなる少子化で悪化の道をたどることは必至です。残念なことですが、本学はこの四月に社会情報学部の来年度からの募集停止を公表しました。一方それに代わる新学科等の決定を問う、聴きに行く、試合の心

そのひとつは徹底した教養教育の実施です。講義・演習・実習などあらゆる機会を通して考える力の涵養と国語力の強化に取り組む必要があります。これは基本活や学業などすべての生活に貫かれます。以上を成果を目に見える形で得たときこそ、大学の教育力が評価されることではないでしょうか。本学は中身で勝負する大学を目指します。



左から右に谷田康真さん(人間科学科/名寄高校)、吉川和希さん(法律学科/名寄高校)、滝ヶ平裕矢さん(経営学科/名寄高校)、白井根吾さん(法律学科/常呂高校)、左下から右に井川真里さん(こども発達学科/滝川西高校)、夏井坂真由さん(人間科学科/深川東高校)、北口瑞季さん(英語英米文学科/滝川高校)、南真由さん(人間科学科/深川西高校)



中身で勝負する大学へ  
「教養教育の充実と  
教育力の向上を目指して」  
学長 鶴丸 俊明

高校以前からカリーニングチームとして活躍してきた男女のチームがそろって入学し、カリーニング部を創部することにしました。女子は、高校選手権を二連覇、北海道ジュニア選手権を二連覇、海外遠征の経験をもつチームです。

カリーニング部を創部  
男女の北海道J1優勝チームがそろって入学！  
また、男子は高校選手権などの経験を生かして、本年三月の北海道ジュニア選手権に優勝したチームです。男女とも、十一月に行われる日本ジュニア選手権に出場が決定しており、世界の舞台での活躍が期待されます。

### 2013年度 オープンキャンパス ミニオープンキャンパス

2013 OPEN CAMPUS (参加自由・予約不要)

オープンキャンパス開催情報

第1回	2013年6月23日(日)	11:00~16:00
第2回	2013年7月28日(日)	11:00~16:00
第3回	2013年9月29日(日)	11:00~16:00
第4回	2014年3月21日(金・祝)	11:00~15:00

★無料送迎バス運行  
■【予約不要】札幌駅、新さっぽろ駅からの無料送迎バス  
■【要予約】道内主要都市からの無料送迎バス(全9ルート)  
上川方面【名寄】-【士別】-【滝川】-【ガクイン】  
空知方面【網走】-【深川】-【滝川】-【岩見沢】-【ガクイン】  
後志方面【若狭】-【倶知安】-【小樽】-【手稲】-【ガクイン】  
日高方面【網走】-【静内】-【滝川】-【苫小牧】-【千歳】-【ガクイン】  
胆振方面【伊達】-【東室蘭】-【釧路】-【ガクイン】  
十勝方面【帯広】-【帯広】-【帯広】-【帯広】-【ガクイン】  
渡島方面【函館】-【函】-【八雲】-【ガクイン】  
北見方面【北見】-【遠軽】-【ガクイン】  
釧路方面【釧路】-【白根】-【ガクイン】

2013 MINI OPEN CAMPUS (予約制)

● 2013年8月24日(土)
旭川市 ロワジールホテル旭川 12:00開始
● 2013年8月25日(日)
北見市 ホテル黒部 11:00開始
● 2013年8月31日(土)
釧路市 釧路東急イン 11:00開始
● 2013年9月1日(日)
帯広市 帯広東急イン 11:00開始
● 2013年9月7日(土)
青森市 青森県観光物産館アスパム 11:00開始
● 2013年9月8日(日)
函館市 ロワジールホテル函館 11:00開始

★無料送迎バス運行【要予約】  
8/24(土) 旭川コース(静内)-【帯広】-【美瑛】-【名寄】-【士別】-旭川会場  
8/25(日) 北見コース(静内)-【静内】-【静内】-【静内】-【静内】-北見会場  
8/31(土) 釧路コース(静内)-【静内】-【静内】-【静内】-【静内】-釧路会場  
9/1(日) 十勝広域コース(帯広)-【帯広】-【帯広】-【帯広】-【帯広】-帯広会場  
9/7(土) 津軽コース(静内)-【静内】-【静内】-【静内】-【静内】-静内会場  
9/8(日) 函館コース(静内)-【静内】-【静内】-【静内】-【静内】-函館会場

### 2年生で 公認会計士試験短答式に合格!



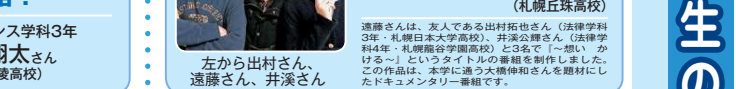
会計ファイナンス学科3年 辻 翔太さん (岩見沢緑陵高校)  
この資格の勉強を始めたきっかけは高校に入学し簿記部に入学したことです。僕は中学生の頃は運動部で活動していたのですが、そこでは場所的・時間的制約から納得のいく練習ができず不完全燃焼に終わってしまいました。しかし簿記は教科書と電卓さえあれば何処でもいつでも勉強することができます。そのようなことで簿記の魅力を感じ簿記部に入学することに決め、公認会計士の勉強を始めました。

### 1年生で 国内・総合旅行業務 取扱管理者にW合格!



国内・総合旅行業務 取扱管理者にW合格! 英語英米文学科4年 吉村 彩さん (旭川藤女子高校)  
私が資格に挑戦しようと思った理由は、将来ツーリズム産業で働きたいと考えていたため、三年生になる直前この資格に挑戦しようと思っました。この資格は覚えることが沢山あり、授業の進みスピードも早いですが、講師の方の親身になってくれるため心配はいりません。私は半年間、毎日の部活と資格の勉強を両立しなければいけません。ですが、部活の皆と共に受講した友達や講師の方に支えられ、苦痛と思うことはほぼ無かったです。合格通知が届いた時は支えてくれた人達への感謝でいっぱいでした。今後は、資格を取得するまでの経験を就活でアピールし、この資格を活かせる仕事に就きたいと思っています。

### NHK大学放送コンテスト 「映像番組部門」で優勝!!



人間科学科4年 遠藤 清明さん (札幌丘珠高校)  
遠藤さんは、友人である出村拓也さん(法律学科3年・札幌日本大学高校)、井澤公輝さん(法律学科4年・札幌学院大学高校)と3人で「映」-「映」-「映」-「映」というタイトルの番組を制作しました。この作品は、本学に通う大橋和さんと素材にしたドキュメンタリー番組です。  
大橋さんとは、以前からの知り合いで普段から関わりを持っていました。そんな大橋さんが、昔は人と会話が出来ず引きこもりがちでしたが、それを克服したと知りました。その時、彼の事を多くの人に知って貰いたいと思い、この番組を制作する決意をしました。一番苦労したのはこの番組で「何を伝えたいのか」を定める事です。番組で伝える事を決めるという事は、その番組のメッセージ性が決まるという事。メッセージ性のある番組は必ず見てくれる人の心を動かすこと信じているので、番組で何を伝えたいのかを定める所が苦労した点です。受賞出来たと聞いた時は純粋に嬉しかったです。本選の時、私は教育実習中での場には不在だったので複雑な気持ちでしたね。

### 1年生で 簿記1級に合格!



会計ファイナンス学科4年 熊谷 将さん (岩見沢緑陵高校)  
高校生の時に初めて簿記を学びました。財務諸表を分析することで企業の財政状態や今後の改善点がかかることに楽しさを感じ、さらに知識を深めるために日商簿記検定1級を受験しました。私は勉強を続けるために一つの目標を立てていきました。それは「メリハリをつける」ということです。学校に来たら朝から夜まで図書館にもって勉強をし、帰宅後や休みの日などはあまり勉強をしませんでした。勉強を始めてから二年ほどかかってしまいましたが、合格した時の達成感はとても大きかったです。私は今、金融機関を中心に就職活動を行っています。簿記の知識を活かし、お客様の悩みを親身になって解決していけるような人になるのが今後の私の目標です。

## 学生の活躍紹介

★資格取得やサークル活動で素晴らしい成績を取った学生たちを紹介



教職員人事

任命 平成一十五年四月一日付
学長 鶴丸 俊明
副学長 山本 純
大学院法政学研究所長 西尾 敏義
経営学部長兼商学部長 北林 雅志
経済学部長 久保田義弘
人文学部長 小林 好和
教務部長 石川 千温
就職部長 河西 邦人
広報課長 森 直久
学生部長 平体 由美
総合研究所長兼経済学部長 白井 博
主任学芸員 白井 博

認定評価担当部長 中村 永友
経営学部会計ファインンス 菅川 雅章
学部長兼商学部学部長 菅川 雅章
学芸員 玉山 和夫
経営学部経営学部長 鶴丸 俊明
法律学部長 佐々木 健
法学部法政学部長 岡崎 清
人文学部英語英米学部長 岡崎 清
人文学部臨床心理学部長 葛西 俊治
法学部法政学部長 林 眞紀世
平成一十五年四月一日付
採用 西 真木子
准教授 佐藤 和洋
教授 林 眞紀世
法学部法律学准教授 山下 慎一
法学部法律学准教授 久藏 孝幸
人文学部臨床心理学准教授 久藏 孝幸
社会情報学部社会情報学 中々田 M.J.
社会情報学部社会情報学 講義 坂東 雄介
法学部法律学 科講師 坂東 雄介
平成一十五年三月三十一日付
退職 吉田日出男
法学部法律学 科教授 吉田日出男
法学部法律学 科講師 坂東 雄介
平成一十五年四月二十四日付
事務局長付 C.O.C 担当特命 中川 道雄
(管財係長)

船津 功 (人文学部人間科学科教授)
木村 美絵 (教務部教務課)
林 聖佳 (教務部教務課)
中川 ゆい (図書課)
久藏 孝幸 (人文学部臨床心理学准教授)
久藏 孝幸 (人文学部臨床心理学准教授)
中々田 M.J. (社会情報学部社会情報学)
坂東 雄介 (法学部法律学)
吉田日出男 (法学部法律学)
吉田日出男 (法学部法律学)
坂東 雄介 (法学部法律学)
中川 道雄 (管財係長)

平成二十五年年度 保護者懇談会のご案内

保護者懇談会は、大学と保護者が協力して学生の学びと成長を支えていくことという目的で、一九七四年から開催され今年で三十九年目を迎えます。本学の教育及び就職支援に係る全体説明の後、学生一人ひとりの修学状況を十分に把握した上で、学部担当教員よりお子様の修学状況(単位修得・成績等)についてお話をさせていただきます。
平成二十五年年度は以下のとおり開催を予定しております。
◎旭川 七月六日(土)
◎札幌 七月七日(日)
◎北見 七月七日(日)
◎青森 九月七日(土)
◎仙台 九月八日(日)
◎仙台 九月八日(日)
◎札幌 十一月二日(土)
札幌学院大学

札幌学院大学後援会 春季役員会の開催

六月一日(土)、本学後援会の春季役員会が開催されました。
新評議員の委嘱報告に続き、①理事の選任②副会長の辞任に伴う後任③会則の一部改正④平成二十四年度事業報告及び決算⑤平成二十五年度事業計画及び予算の承認がなされました。
石川千温学芸員が新任の副会長に就任されました。また、会則の一部改正により、後援会の事業のうち学生の課外活動、学業のうち学生の課外活動、研究活動に対する援助に加え、国際交流活動及び奨学金の支給も含まれることになりました。
なお、会議に先立ち、新評議員にはキャンパスツアーに参加いただき、大学の主要な施設の見学を通して学生生活の一端を体験していただきました。また、会議終了後の昼食会では、来賓の藤田恒二郎理事長並びに鶴丸俊明学長から、後援会に対する謝意と学園の近況が述べられ、保護者役員の皆様と大学関係者との懇談が和やかに進められました。

2014年 大学院 一期入試 スケジュール
出願期間 平成25年 9月6日(金)~9月20日(金)(必着)
試験日 平成25年10月5日(土) 法学研究科(一般・社会人)
臨床心理学研究科(一般筆記・社会人)
臨床心理学研究科(一般面接)
地域社会マネジメント研究科(一般・社会人)
平成25年10月6日(日) 臨床心理学研究科(一般面接)
合格発表日 平成25年10月18日(金)10:00
※本学及び社会連携センターにて掲示
入学資格審査出願期間 平成25年6月28日(金)~7月4日(木)(必着)
入学資格審査口述試験 平成25年7月 6日(土) 13:00~

消費収支計算書 (単位:千円)
2012年度予算 2012年度決算 差異 2013年度予算
学生生徒等納付金 3,304,400 3,281,556 22,844 3,062,400
手数料 38,200 43,515 △5,315 38,800
寄付金 41,300 45,142 △3,842 41,600
補助金 408,800 426,035 △17,235 396,800
(内国庫補助金) (408,500) (425,769) (△17,269) (396,500)
資産運用収入 268,100 270,622 △2,522 262,100
資産売却差額 5,000 1,308 3,692 0
事業収入 9,900 15,138 △5,838 11,900
雑収入 173,700 171,215 2,485 122,600
総収入合計 4,248,800 4,254,531 △5,731 3,936,200
基本金組入額合計 △185,100 △198,055 12,955 △196,500
消費収入の部合計(A) 4,063,700 4,056,476 7,224 3,739,700
人件費 2,666,500 2,553,464 113,036 2,507,100
(内退職給与引当金繰入額) (140,700) (123,299) (17,401) (68,000)
教育研究経費 1,196,800 1,155,524 41,276 1,123,000
(内減価償却額) (308,000) (320,294) (△12,294) (289,000)
管理経費 317,200 315,892 1,308 303,500
(内減価償却額) (40,600) (26,570) (14,030) (26,300)
資産処分差額 50,000 26,808 23,192 25,000
徴収不能引当金繰入 0 267 △267 0
予備費 12,700 0 12,700 11,800
消費支出の部合計(B) 4,243,200 4,051,955 191,245 3,970,400
消費収入超過額または消費支出超過額(A-B) △179,500 4,521 △230,700
基本金取崩額 0 1,500,000 0 0
翌年度繰越消費収入超過額 536,051 2,220,072 1,989,372

資金収支計算書 (単位:千円)
2012年度予算 2012年度決算 差異 2013年度予算
取 学生生徒等納付金収入 3,304,400 3,281,556 22,844 3,062,400
手数料収入 38,200 43,515 △5,315 38,800
寄付金収入 41,300 45,142 △3,842 41,600
補助金収入 408,800 426,035 △17,235 396,800
資産運用収入 268,100 270,622 △2,522 262,100
資産売却収入 5,000 1,308 3,692 0
雑収入 173,700 171,215 2,485 122,600
前受金収入 0 0 0 0
資金収入調整勘定 0 0 0 0
前年度繰越支払資金収入の部合計 7,895,126 18,578,419 △10,683,293 7,742,446
支 人件費支出 2,666,500 2,553,464 113,036 2,507,100
教育研究経費支出 1,196,800 1,155,524 41,276 1,123,000
管理経費支出 317,200 315,892 1,308 303,500
施設関係支出 308,000 320,294 (△12,294) (289,000)
設備関係支出 40,600 26,570 (14,030) (26,300)
資産運用支出 50,000 26,808 23,192 25,000
その他の支出 0 0 0 0
予備費 12,700 0 12,700 11,800
資金支出調整勘定 0 0 0 0
次年度繰越支払資金支出の部合計 7,895,126 18,578,419 △10,683,293 7,742,446

貸借対照表 (単位:千円)
資産の部
本年度末 前年度末 増減
2013年3月31日 2012年3月31日
固定資産 28,728,059 21,615,109 7,112,950
有形固定資産 11,350,454 11,623,480 △273,026
その他の固定資産 17,377,605 9,991,629 7,385,976
流動資産 1,802,946 8,702,344 △6,899,398
資産の部合計 30,531,005 30,317,453 213,552
負債の部
本年度末 前年度末 増減
2013年3月31日 2012年3月31日
固定負債 1,207,341 1,211,817 △4,476
流動負債 627,168 611,716 15,452
小計 1,834,509 1,823,533 10,976
基本金及び消費収支差額の部 (単位:千円)
基本金 26,476,424 27,778,369 △1,301,945
消費収支差額 2,220,072 715,551 1,504,521
小計 28,696,496 28,493,920 202,576
負債の部・基本金及び消費収支差額の部合計 30,531,005 30,317,453 213,552

2012年度決算ならびに2013年度予算

2013年5月29日に開催された第199回理事会において学校法人札幌学院大学の2012(平成24)年度決算並びに2013(平成25)年度補正予算が承認されました。
【2012年度決算の概要】
2012年度縮減収入の決算額は予算額に対して570万円増、基本金組入額は予算額に対して1,300万円増となり消費収入の減少となりました。これに対して消費支出の決算額は予算額に対して1億9,120万円の減少となりました。予算額より1億7,950万円の支出超過を見込んでいたものの、決算額では450万円の収入超過となりました。また、翌年度繰越消費収入超過額は、2013年2月に開催された第198回理事会にて承認された第2号基本金の計画変更に伴い、15億円の基本金を取崩したことから、2億2,000万円の消費収入超過となりました。(金額は10万円未満を四捨五入しています)
(消費収支計算書)
学生生徒納付金は、予算の時点で試算した在学生数の予想よりやや減少したため2,280万円削減となりました。寄付金は、学生父母や卒業生の皆様を中心にいただいた一般寄付はじめ、機器備品・図書等の現物寄附、特別寄付を含め4,510万円にのぼる寄付をいただいた結果、予算を380万円上回ることでとなりました。
補助金は、経常費補助金が近年特別補助に重点配分していたものから一般補助へ重点配分されるような変更があったため1,720万円収入の増加となりました。資産運用は、資産運用規程に基づきかつ安全で効率的な運用を心がけた結果、今年度は国庫や地方債など債券金利の低下が著しかったため新規に債券で運用するのではなく、銀行等の定期預金を中心とした運用を行いました。なお、今年度もリスクが高い仕組み債や外債建て債券ならびに株式への投資やデリバティブ取引は一切行っておりません。事業収入は、国際交流の一プログラムである「日本語教育プログラム」で海外の提携校から参加者が増えるなど、580万円ほど収入の増加となりました。
人件費は、教職員の本俸表改定に伴う支出の減及び期末手当の支給率変更などによっておおよそ5,300万円の削減をするなど、人件費全体で予算額より1億1,300万円の支出減となりました。また、教育・管理経費は、執行段階でさらなる経費節減を実行した結果、予算額に対して4,260万円の支出減となりました。資産処分差額では、図書の除却作業を年次計画に変更したことによって2,320万円の支出減となりました。
(資金収支計算書)
その他の収入及び資産運用支出は、予算額を大きく上回りましたが、2013年2月に開催された第198回理事会で承認された第2号基本金の計画変更及び大学発展準備金引当特定資産への振替や減価償却引当特定資産への組入比率の変更をしたものにより、次年度繰越支払資金は、予算額より4億4,660万円ほど増加し16億4,290万円となりましたが、これは上記理事会決定にもない、他の道内私立大学並みに近づく流動的な支払資金を保有した結果です。
(貸借対照表)
固定資産(土地・建物・機器備品・特定資産他)と流動資産(現金・未収入金他)の資産の部合計は、前年度末比で2億1,360万円の増加、固定負債(退職給与引当金他)と流動負債(前受金・未収入金他)の負債の部合計は、前年度末比で1,100万円の増加でした。資産の部合計から負債の部合計を差し引いた「正味財産」は、286億9,650万円で、前年度より2億260万円増加しました。
【2013年度予算の概要】
縮減収入は前年度予算より3億1,260万円減の39億3,620万円を計上し、そこから奨学金基金等に組入れる基本金の9,650万円を差し引いた消費収入合計は37億3,970万円となる見込みです。また、消費支出合計は39億7,040万円となる見込みで、当年度の消費支出超過額は2億3,070万円となります。この結果、翌年度繰越消費収入超過額は19億8,940万円となる見込みです。
◎主な重点政策事項
○大学改革実行プランの具体化を進める
○地域再生の拠点や社会・経済・文化発展の核となる大学作り
○多極展開型のキャンパス計画の立案・実行
○大学改革と大学再編を確実に実行
①地域社会をけん引することできる人材育成
②チームワークとリーダーシップの与える人材の育成
③アクティブ・ラーニングの導入
④グローバル社会に適合した人材の育成
○学生の獲得に際した具体化の検討
○経済的困難学生への経済援助奨学金の充実
◎経常的業務
○教育の基盤整備と充実・研究の促進・教育研究を支える図書・資料の整備
○情報化社会に即応した機器整備とサポート
○学生生活の活性化と福利厚生の実施
○国際交流の推進
○地域社会との連携



異文化交流

二〇一二年度日本語教育・文化体験プログラム冬

一月九日から約一月間行われた本プログラムは、今年も韓国・五支隊から総勢四十七名の留学生が参加し、六十名の本学生がサポート生としてプログラム運営に携わりました。夏と冬に行われるこのプログラムは、本学の国際交流事業の一大イベントとなっています。

プログラムでは、留学生は平日の午前中は日本語を学び、午後後はアクティビティや特別講義などに参加し、また週末には北海道の自然や文化に触れる「地域体験学習」が行われます。期間中は、留学生二名につき一〇二名の本学生がサポートし、生活や学習の支援にあたります。本学生は日常的に留学生を支援することで、また、留学生は衣食住の様々な場面を通じて本学生と交流することとなり、北海道ならではの貴重な異文化交流が生み出されています。



土器から北海道の先史時代を学ぶ



氷瀑まつりにて



北海道の食を楽しむ ジンギスカン

2013(平成25)年度 札幌学院大学公開講座開催予定
経済学部公開講座(第5回)
人文学部公開講座(第33回)
法学部公開講座(第23回)

第三十七回学術講演会
講演と音楽の夕べ
日時 七月二十六日(金)
会場 旭川大雪クリスタルホール

多大学の学生がつくる地域フリーペーパー「えべんちゅ」Vol.2が発刊されました
経営学部教授 山本 純

札幌学院大学経営学部フィールド実践実習室で行われている編集会議風景

雑誌のコンセプトブックに始まり企画、取材、編集、デザインと、学生達だけの力で課外活動として毎週出版されているフリーペーパー「えべんちゅ」

SCANで経済学部加藤ゼミが優秀発表賞を受賞しました
経済学部准教授 加藤美穂子

の研究交流を行っていただく。SCANは、「学生から地域への政策提言」をコンセプトとして二〇一〇年度に釧路公立大学の学生が中心となって発足した研究会として、三つある報告会では、三つある報告会であり、学生が主体となって企画・運営・資金調達を行っています。二〇一二年度は、釧路公立大学と本学ほか、北海道教育大学釧路校、北見工業大学、札幌学院、北海学園大学が報告会に参加しました。

札幌学院大学コミュニティカレッジ
コミュニティカレッジ講座パンフレット

社会連携センター「コミュニティ・カレッジ講座のご案内」
2013年度前期

BOOK REVIEW 教員著書紹介

域再生活動が活発な地域として知られる。自然環境は、北海道と共通するところが多く、この調査研究を通じて北海道域における地域再生活動への活用可能性を探ることが目指された。

募金のご協力に深く感謝申し上げます
(平成二十四年十二月十一日から平成二十五年三月三十一日までの報告)

成功要因の指摘を試みた。続く第六章では、スウェーデン北部に存在するピアラーグと呼ばれる集落の自治組織の分析を、補論では集落内緊密な家族・親族ネットワークについて明らかにしている。





初任者研修にて。中央が村田さん

一、学芸員を目指す方々、それはいつ頃でしたか、高校生の時、北海道立近代美術館で開催された「鑑真和上展」で多くの仏像や絵画を鑑賞し、感動したことです。この体験動機に由来しています。



同じく初任者研修にて、皆さん緊張しています

二、在学中の思い出をお聞かせ下さい。大学の先生方、数々の発掘現場や資料の整理作業に連れて行って頂いたこと、

江差町の学芸員さんに泊るの所在地に関する資料について伺った際、毎年二月に開催している郷土誌講座で地域住民に話してみませんかとお声をかけてくれました。

三、四年生だった昨年、月に開催された「中世 江差における泊館について」に講師をさせて頂き、その中で「泊館」として資料を受け入れ、講義などの教育普及事業やその他、各種事業があり、二つ目は、文化財事業として、埋蔵文化財や登録有形文化財、天然記念物などに関する事業があり、根室市にてオープンして、根室市にてオープンして、根室市にてオープンして、

自分自身も、大学卒業して、すぐ学芸員に就くことは難しいと感じていました。が、今改めてみると夢を追って、日々の学生生活を送っていたことが、学芸員という職業に預かることができました。

三、四年生だった昨年、月に開催された「中世 江差における泊館について」に講師をさせて頂き、その中で「泊館」として資料を受け入れ、講義などの教育普及事業やその他、各種事業があり、二つ目は、文化財事業として、埋蔵文化財や登録有形文化財、天然記念物などに関する事業があり、根室市にてオープンして、根室市にてオープンして、

二〇一二年に人間科学科を卒業された村田さん。現在、中標津町で学芸員として勤務されています。狭き門と言われていた学芸員の職に就かれた経緯、学生時代に出身地の江差で講師を経験した講演会の様子などをお聞きしました。

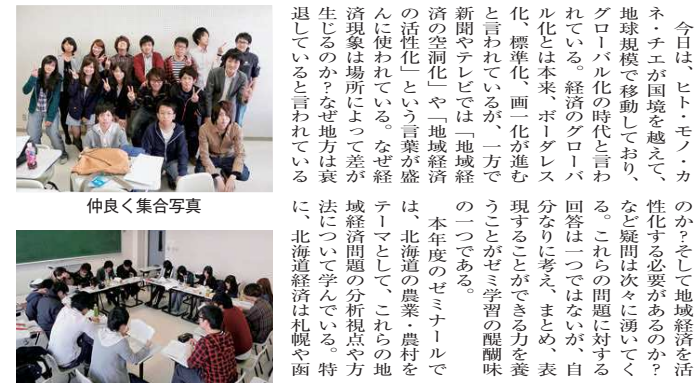
卒業生この人一 夢を追い続けて 日々の学生生活を送ろう 村田 一貴さん (2012年3月 人間科学部人間科学科卒業)



たのびました。気が持ちはるかに、地域住民の方は熱心に発表を聞いて頂きました。地域住民の方々から、卒論で取り上げなかった尾山氏という伝説上の武将と「泊館」との関係性についても尋ねられ、いかに地域住民が郷土の歴史に誇りを持っているのかわかりました。

参加させて頂いています。おかげで日常的に、少しずつですが動物園を視察する機会も増えました。私自身も、大学卒業して、すぐに学芸員に就くことは難しいと感じていました。が、今改めてみると夢を追って、日々の学生生活を送っていたことが、学芸員という職業に預かることができました。

「専門ゼミナールII」 佐々木達 経済学部 経済学科 講師



今日は、ヒト・モノ・カネ・チエが国境を越えて、地球規模で移動しており、グローバル化の時代とされている。経済のグローバル化とは本来、ポータル化、標準化、画一化が進むとされているが、一方で新聞やテレビでは「地域経済の空洞化」や「地域経済の活性化」という言葉が盛んに使われている。なぜ経済現象は場所によって差が生じるのか？なぜ地方は衰退していると言われているのか？

重宝している。また本ゼミでは、三年生の後半に控えている就職活動や卒業後の進路について、ご質問にお答えします。

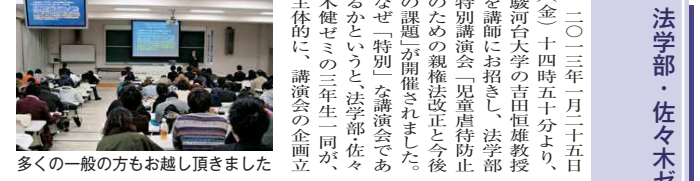


勝利に大喜ぶの部員たち

最終的には北海道一リーグを優勝し、勝ち抜き、昨年同様、

★三十八回北海道学生アメリカンフットボール選手権大会にて十九年ぶり四度目の優勝！ ★六年目になりました！夕張にて雪かきボランティア

私は札幌学院大学アメリカンフットボール部クリムソンナイツは、二〇一二年シーズンは「北海道制覇」を掲げ挑みました。部員は十四名と少なく、試合をキリギリのところでも出場しており、選手交代もままならず、具体的な不安もありました。ここで、先輩方からアドバイスをいただき、



多くの一般の方もお越し頂きました

法学部・佐々木ゼミ3年生が、自らの手で法学部特別講演会を企画立案・開催

二〇一三年一月二十五日(金)十四時五十分より、駿河台大学の吉田恒雄教授(金)十四時五十分より、算管理、広報・運営に至るまで、すべて行っているためです。佐々木ゼミでは、例年、人文科学部人間科学科の大澤真人ゼミとともに、親子で巡る様々な問題について、分野別の視点から複眼的に検討する、合同ゼミを開催しています。昨年、勉強し、基礎文献から立法資料、学術論文等読み進めながら、開演に向けて各班(渉外・会計・広報・運営)が連携を進めていくこと、多くの苦労が伴ったようでした。しかし、深刻な児童虐待の現状をはじめ、親と児童相談所や児童福祉施設との関係、親権法改正の経緯、



夕張のみなさんと一緒に

この様な活動を行うことにより、コミュニケーションを深め、学生生活に役立つ機会になったと思えます。昼にはカレーを二食と走りになり、また、雪かき中にも差し入れをいただき、たいへんお世話になりました。その心遣いに感動して、ありがとうございました。

アルキタのCMにも出演しました。昨今、弓道部が出演したアルバイト北海道のCMが、お年寄りも多く、どの部員も喜んでいただけました。また、二月の下旬に第二キヤンパスの案内練習場にて撮影が行われ、スタッフの指示のもと、各部員たちは真剣に撮影に挑戦しました。



今年、弓道部が出演したアルバイト北海道のCMが、お年寄りも多く、どの部員も喜んでいただけました。また、二月の下旬に第二キヤンパスの案内練習場にて撮影が行われ、スタッフの指示のもと、各部員たちは真剣に撮影に挑戦しました。

学生広報チーム 第4期スタートしました

二〇一〇年度からスタートし、四年目を迎えた学生広報チーム、四年生三名が、入試課のサポートとして地方開催のミニ・オープンキャンパスへの参加を希望し、十二号線沿いと文京通り沿いの看板、地下鉄やJRTといった、今もより進化させ、GAKUINの元気な様子を読み手に取り上げたいと、取材・写真撮影のため学内を走り回っています。こちらもお楽しみに。

GREEN LIFE/BLUE DAY

21:54 - 22:00 GREEN LIFE/BLUE DAY 放送スケジュール 6月3日(月) 8月26日(月) 放送週曜日(全13回) 毎週月曜 21:54 - 22:00 放送局: UHB北海道文化放送

GREEN LIFE/BLUE DAY

本学の学生を主人公にしたTV番組「GREEN LIFE/BLUE DAY」放映中!!